

きたの いつこ

北野 伊津子 氏（日本共産党）

質問16 上記1～15までの質問に関連して補足のご意見がありましたら、お聞かせください。（まとめて800字程度まででお願いします。記載なしでもけっこうです）

回答 ※記述のあった項目のみを掲載しています。

〔質問3〕75歳以上の窓口負担1割を2割に引き上げを実施しないこと

75歳以上の窓口負担2倍化を中止させます。同時に、高齢者（70歳以上）は「現役並み所得者」（課税所得145万円以上）とされている人も含めて1割負担とすること、現役世代は国保も健保も2割負担に引き下げることを目指し、窓口負担の軽減をはかります。

〔質問8〕歯科技工士の待遇改善のため、歯科診療報酬の補綴技術料を引き上げること

歯科技工士が安心して仕事を継続でき、歯科医と連携して「よい入れ歯」を保険で給付できるよう、歯科技工物にたいする診療報酬の改善をすすめます。金銀パラジウム合金の価格が高騰し、保険償還価格を上回る「逆ざや」によって、歯科医療機関が赤字を被っている問題を解消するため、貴パラ合金に関わる診療報酬の抜本的な見直しを行います。

〔質問9〕消費税の税率引き下げ

消費税を5%に引き下げます。減税は、物価高騰から暮らしを守り、日本経済を強くする一番の対策です。

〔質問10〕保険医療への消費税に「ゼロ税率」を適用すること

保険診療などの医療費は消費税非課税とされていますが、病院は診療所が購入する医薬品・医療機器などには消費税が課税されています。これによって医療費の負担も増え、医療機関の経営も圧迫されています。保険診療には「ゼロ税率」を適用し、医薬品などにかかった消費税が還付されるようにします。